

第七回 陽林会 研修

坂東三十三ヶ所観音巡拝 第1回 平成28年2月23日～25日

文責 岩水龍峰

平成28年2月23日(火) 林陽寺駐車場を7時30分に出発、名古屋組は上社駅からの乗車となった。当初、この巡拝は、曹洞宗岐阜県第1教区護持会主催のお参りの旅であったが、メンバーの集まらず中止となった。当山関係者の要望もあり、又、部田氏のお誘いもあり名古屋の市民大学講座の方々や洞泉寺様の協力により、18名での旅となった。

第1回のコースは、次のようであった。

23日 各地出発－東名－8番 星谷寺、6番 長谷寺、7番 光明寺、5番 勝福寺(箱根泊)

24日 4番 長谷寺、2番 岩殿寺、3番 安養院、1番 杉本寺、14番 孔明寺(横浜泊)

25日 13番 浅草寺、12番 慈恩寺－各地帰宅(上社18:00頃、林陽寺19:30頃)

坂東三十三箇所(ぼんどうさんじゅうさんかしょ)とは、神奈川県・埼玉県・東京都・群馬県・栃木県・茨城県・千葉県にかけてある33か所の観音霊場のこと。源頼朝によって発願され、源実朝が西国の霊場を模範として札所を制定したと伝えられている。第一番札所の杉本寺から第三十三番札所である那古寺までを巡拝すると、その道程は約1300キロメートルにもなる大変広範囲に設けられた巡礼地でもある。

<p>第8番 星谷寺(星の谷観音)</p>	<p>真言宗大覚寺派</p>	<p>座間市入谷</p>
 <p>仁王像に迎えられます</p>	<p>仁王像、新しい鐘楼(梵鐘そのものは1227年鑄造で、東日本最古)に迎えられ、清新なイメージのお寺ですが、歴史は古いうで、ここの寺伝にも行基の名が登場します。また、境内には頭のないお地蔵様がいくつかあり、頭の代わりに石がのせられたお姿が心にずしんと響いてくる感じです。また、昼間でも水面に星が映るという「星の井戸」や観音堂内に奇妙な形をした「根下がり紅葉」などがあります</p>	
<p>第6番 長谷寺(飯山観音)</p>	<p>高野山真言宗</p>	<p>厚木市飯山</p>
	<p>丹沢山系の東端、標高284メートルの白山の中腹にあるお寺。境内には本堂を取り巻くように坂東三十三ヶ所の本尊を模した石仏が並んでいて巡礼ができるようになっていました。お寺を守る仁王さまの吽形の方の妙に生真面目そうな表情が印象深い。273段の石段があります。</p> 	

<p>第7番 光明寺（金目観音）</p>	<p>天台宗</p>	<p>平塚市南金目</p>
 <p>顔が剥ぎ取られたようなお賓頭盧さま</p>	<p>金目川に面した平塚市最古のお寺。源頼朝が崇敬し、のちには足利尊氏らの保護を受けた名刹です。本尊は「お腹籠もりの観音様」と呼ばれ、安産祈願に訪れる女性が多いといえます。縁起によれば、702年に金目川河口に近い小磯の浜で漁民が拾った観音像を、行基が新たに彫った観音像の胎内に納めたと伝えられています。それで「お腹籠もりの観音様」というわけです。本尊を納める厨子は国の重要文化財。本堂には聖徳太子像も祀られています。</p>	
<p>第5番 勝福寺（飯泉観音）</p>	<p>古儀真言宗</p>	<p>小田原市飯泉</p>
 <p>飛天の欄間</p>	<p>小田原城から見て北東の方角に位置し、鬼門守護として後北条氏の保護を受けたお寺です。本堂に向かって二宮金次郎（尊徳）がひざまずき合掌する像もあります。金次郎が観音信仰に目覚めたのが、このお寺だったそうです。本尊の十一面観音は唐の高僧・鑑真が招来したものを孝謙天皇に献上し、それを下賜された、道鏡が下野国に下る途中、この地に安置したものと伝えられています。本堂に上がると、内陣との間に見事な飛天の浮き彫りがあります。</p>	
<p>第2番 岩殿寺（岩殿観音）</p>	<p>曹洞宗</p>	<p>逗子市久木</p>
	<p>殿の裏側にある岩窟が奥の院で、そこに行基作と伝えられる十一面観音が安置されています。</p> <p>た、石段の途中には弘法大師が爪で彫ったと言われるお地蔵様もあります。このお寺も源頼朝をはじめ源氏一族の帰依を受け、また、後には徳川家康によって本堂が修復されたと伝えられています。</p>	
<p>第3番 安養院（田代観音）</p>	<p>浄土宗</p>	<p>鎌倉市大町</p>
	<p>源頼朝の妻・北条政子ゆかりのお寺。良縁を祈願する人が多く訪れるそうです。境内に入ると、左手に弘法大師が彫ったという地蔵尊があります。本殿には阿弥陀如来像と観音像、それに北条政子の木造が安置されています。</p> <p>本堂の裏手には鎌倉最古といわれる供養塔があり、開山の尊観上人の墓とされています。並んで立つのは北条政子の供養塔とされます。</p>	

<p>第4番 長谷寺（長谷観音）</p>	<p>浄土宗</p>	<p>鎌倉市長谷</p>
 <p>境内の海光庵にて「精進カレー」を頂く</p>	<p>弁天窟、阿弥陀堂（頼朝が42歳の厄除けに建立したと伝えられる阿弥陀如来像を安置）、大黒堂、宝物殿など、見どころ、拜みどころはたくさんありますが、やはり何ととっても観音堂です。木像の観音様としては日本最大という9.18メートルの十一面観音。伝承によれば、大和の長谷寺の本尊と同じクスノキから彫り出され、一体が大和の長谷寺に安置され、もう一体は衆生を救うために海に流されたのが三浦半島に漂着したといひます。展望台からは鎌倉の街と相模湾が一望できます。</p>	
<p>第1番 杉本寺（杉本観音）</p>	<p>天台宗</p>	<p>鎌倉市二階堂</p>
 <p>苔むした石段</p>	<p>苔むした石段、風にはためく白い奉納幟、茅葺の本殿。鎌倉最古という古刹です。奈良時代の僧・行基が刻んだと伝えられる十一面観音像のほか、慈覚大師の御作、恵心僧都の御作と三体の観音像が祀られ、寺が火災に遭った時、三体の本尊が自ら境内の杉の木のもとに避難したという伝説から杉本寺と呼ばれるようになったそうです。柱はすべて、杉の木だそうです。</p>	
<p>第14番 孔明寺（孔明寺観音）</p>	<p>高野山真言宗</p>	<p>横浜市南区孔明寺</p>
 <p>石段を登ると本殿である</p>	<p>本尊は珍しい鉈彫りの観音様。ノミの彫り痕が残り、一見、粗削りな印象ですが、これは霊木から観音様が現われる様子を表現しているのでしょう。ほかに竹の観音様（女性的でとてもやさしいお姿）を祀ったお堂もあります。また、仁王像は運慶作とも伝えられているそうです。</p> <p>孔明寺商店街があり、門前町をなしている。さしずめ、大須観音のような賑やかさである。</p>	
<p>第13番 浅草寺（浅草観音）</p>	<p>聖観音宗</p>	<p>台東区浅草</p>
	<p>雷門でおなじみの浅草寺。三十三ヶ所のうち東京都内にあるのはここだけ。628年に隅田川で投網にかかった聖観音像を祀ったのが始まりといい、大変歴史の古いお寺です。この観音様は絶対秘仏で拜むことはできません。平安初期に慈覚大師が秘仏に似せた「お前立ち」の観音様を刻んで安置し、これが33年ごとに開帳されるそうです。最近では、日本人よりも外国の旅行者に人気がある札所です。</p>	

第12番 慈恩寺（慈恩寺観音）	天台宗	さいたま市岩槻区慈恩寺
 	<p>慈恩寺は824年に慈覚大師円仁によって開かれた古刹で、寺の名前は大師が唐で学んだ長安の大慈恩寺にちなんでいるということです。最盛期には塔中66ヶ坊を有する大寺でしたが、度重なる災厄により、当時の堂宇や本尊は失われてしまいました。現在の本堂は1843年の建立で、本尊は寛永年間に天海僧正が比叡山より招来したものです。本堂内陣には御本尊を納めた厨子の前に御前立ちの千手観音像、ほかに二十八部衆像、不動明王像、閻魔大王像などが安置されている。</p> <p>本堂は、鞆堂を架けての大修理中であったが、堂内には、所狭しと、仏像が安置されていた。</p> <p>玄奘三蔵法師の遺骨を納めた玄奘塔もある。</p>	

坂東三十三観音の歴史（ネットより）

昔、足柄山や箱根の坂の東一帯は坂東と呼ばれており、その坂東の武者たちは、源平の合戦に九州にまで参戦。戦いの後、敵味方を問わない供養や永い平和への祈願が盛んになり、源頼朝の篤い観音信仰と、多くの武者が西国で見聞した西国三十三観音霊場への想いなどが結びつき、鎌倉時代の初期に坂東三十三観音霊場が開設されました。やがて、秩父三十四観音霊場を加えた日本百観音霊場へと発展し、今日に至っています。

坂東札所が第一番を鎌倉の杉本寺とし、鎌倉・相模それに武蔵に札所の多いこと、そして安房の郡古寺を打ち納めとしているなど、鎌倉居住者に巡拝の経路が好都合になっているなど、鎌倉期成立説に妥当性がある。この時代、三浦半島あたりから上総や安房へ通ずる海上交通は発達していたので、容易にこの順路は考えられる。頼朝がきわめて熱心な観音信者であったことは、『吾妻鏡』によって知られています。

この頃すでに関東の地に多くの観音霊場が開かれていたので、その組織化が可能であった。では誰が、いつ、どこで三十三カ所の霊場に連帯意識をもたせたのであろうか。建久三年（1192）後白河法皇の四十九日の法要を鎌倉の南御堂で頼朝が行った時に、武相の僧侶百名が招かれた。そのうちに杉本寺・岩殿寺・勝福寺・光明寺・慈光寺・浅草寺、いわゆる、のちに坂東札所となった寺から合計二十一名が集まっている。この時に観音系寺院による札所制定への協議がもたれたかも知れぬ。それに積極的に協力したのが杉本寺や光明寺の僧であったと考えられている。それも頼朝の意図を充分汲んでのことであつたらう。国から国への旅を無条件で許してくれる政治態勢が不可欠である。その意味からしても、坂東札所は鎌倉幕府の成立をみて可能なことであつたといえるのではなかろうか。